

地域と学校で 子どもを育む

将来のまちづくりを担う子どもたちを健やかに育むために、市では、地域と学校が一緒に子どもを育てる環境づくりを進めています。今回の特集では、子どもの学びに関わる人たちの話を通して、地域ぐるみで子どもを育てていくことの大切さを考えます。

生涯学習推進課

詳細

☎211-3872



地域と学校の協力で
子どもをもっと健やかに

市では現在、203の小学校で約9万人が学んでいます。

子どもの学ぶ力や豊かな心などの「生きる力」を育むためには、学校や家庭でさまざまな経験をし、多くの人と接することが大切です。また、地域の人の交流も、子どもの感性を刺激し、成長を促すことにつながります。しかし近年は、核家族化などの影響で、地域と子どもとの関係が希薄になっています。そこで市では、子どもと地域の大人が関わる機会を増やすため、学校と地域が一体となって子どもを育てる環境づくりを進めています。

地域



知識や経験を伝える

一緒に
子どもを
育てる

学校



子どもと大人が
関わる場をつくる

子どもの「生きる力」を育む

土曜日を もっと特別な日に “サタデースクール”

小学校で月に1回程度、土曜日を中心に地域の方などを招き、子どもたちにスポーツや文化、料理などを教える「サッポロサタデースクール事業」が4月から始まりました。本年度は伏古小、福住小、発寒西小の3校で実施しています。



1

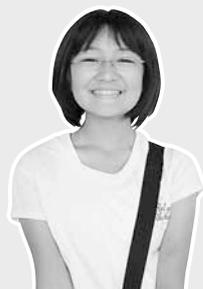


7月のサタデースクールでは、学校の近くで活動している、伝統文化の専門家を講師として招きました。

- ① 木をくり抜き動物の皮を使って作られた、アフリカのジャンベ太鼓を体験！思い切りたくくと、子どもたちは自然と笑顔に
- ② 贈答品や封筒に用いられる飾り紐^{ひも}である水引^{みずひき}作り。挑戦する姿は真剣そのもの

参加した子どもに聞く サタデースクールの魅力

地域の人にいろいろな国の文化を教わりました。特に、間近で聞いた太鼓の演奏は大迫力！手に汗をかくくらい興奮しました。漫画を読みながら過ごしてしまういつもの土曜日とは違う体験ができて楽しかったです。



6年1組
せきた ゆりこ
関田 侑莉子さん

**子どもと大人が
学び合う地域に**
長年、地域の大人が子どもと同じ目線で共に学ぶことが大切だと考えていて、それが学校教育の中で実現できればという思いで企画・運営を引

【地域の方に聞きました!】



福住小でサタデースクールの企画・運営に関わる
みさか けいこ
三坂 桂子さん

き受けました。
サタデースクールは、子どもが人生経験の豊かな大人やその道の熟練者と出会ったり、文化・スポーツなどを一緒に体験したりすることで、子どもの感性を育む取り組みです。普段の授業では得られない経験が、子どもの心をより豊かにしていくと思います。
そして、参加する大人にとっても、子どもならではの素直な発想に気付かされる場

になります。私たち大人は、子どもを一人の人格として尊敬し、「お互いに学び合う」という意識を常に持つことが大事だと思います。
サタデースクールは、地域ぐるみで子どもを育てていく「地域力」を高めるきっかけになると感じています。健やかに育った子どもたちが将来の地域の担い手になる、そういう良い循環が生まれるといいですね。

本が子どもと 大人をつなぐ “開放図書館”

学校の図書館を地域の方も利用できるようにする「開放図書館」。週に3日程度、13時～16時の間、市内の小学校の約半数で行っています。ボランティアが主体となり、工夫を凝らして運営しています。



1



2

- 1 読み聞かせが始まると、自然に物語に引き込まれていきます
- 2 読み聞かせに何度も来ると、パラパラ漫画などのプレゼントがもらえる工夫も。壁の装飾もボランティアの手作りです

学校の先生が語る開放図書館の魅力

読み聞かせの絵本をもう一度手にとって読んでみたり、ボランティアさんから本を紹介してもらったりすることで、子どもたちがどんどん本を好きになっていくのが分かります。開放

図書館では、普段の授業とは違う子どもの一面が見られるので、私たち教師にとっても大切な場になっていますよ。

開放図書館を担当している
こすが たけお
小菅 猛男先生



開放図書館のお手伝いをしませんか

子どもへの読み聞かせなど、ボランティアとして活動する方を募集している学校があります。詳しくは、各開放図書館へお問い合わせください。

札幌市 開放図書館

検索

【地域の方に聞きました!】



前田中央小で開放図書館の
ボランティア代表を務める
むらかみ ちはる
村上 千春さん

本が好きになる
きっかけをつくりたい

子どもの同級生のお母さんに誘われて、13年前から開放図書館のボランティアを続けています。

図書館での活動は、本の貸

し出しや蔵書の整理のほか、読み聞かせなどのイベントを通じた、本に親しむきっかけづくりにも力を入れています。子どもやそのお母さんから、「読み聞かせ楽しかったよ」「本が好きになったよ」という声を掛けられると、うれしい気持ちになりますね。

一般的な図書館との違いは、運営を地域のボランティアおよそ50人が交代で行っていること。その多くは学校に通う

子どもを持つ親なので、自然と会話も弾みます。和気あいあいとした雰囲気が生み出す「あたたかさ」が、開放図書館の一番の魅力ではないでしょうか。

たくさん本の手に触れることで、子どもの想像力はより豊かになっていくと思います。これからも、学校やほかのボランティアの皆さんと一緒に、本の素晴らしさを子どもたちに伝えていきたいですね。

まだまだあります！地域で子どもを育む取り組み

ほかにも地域と学校による特色のある活動がたくさんあります。その一部を紹介します。

駅をきれいに花でいっぱい

太平駅の美化清掃活動

JR太平駅を気持ちよく利用してほしいという思いから始まった、駅を清掃し造花を飾る取り組みです。3年生と「太平南福祉の会」で行っています。活動を通して、身近な駅や地域との関わりを大切にする心を育てています。



街へお出掛けするときに使っている太平駅の壁を、頑張ってきたきれいにしました。飾ったお花を見て、喜んでくれたらうれしいです。

3年1組 玉井里奈さん



北区
太平南
小学校

駅の利用者からは、「子どもたちが飾った花を見て、心があたたかくなった」「花に添えられたメッセージを見て励まされた」という声が寄せられています



スノーキャンドルで幻想的なまちに

スノーフェスタ

南区
澄川
小学校



児童が雪像やスノーキャンドルを作り、地域の方を招いて明かりをともしイベントです。毎年保護者や地域の方など数百人が参加し、雪を通して地域への愛着を深めています。

山に登り身近な自然を学ぶ

三角山登山

西区
山の手
小学校



地域で子どもを育てたいという思いから、保護者を中心に結成した「子供すくすく育み隊」による活動です。子どもたちは登山をしながら山の歴史や植物を学び、自然を大切にする心を育てていきます。

みんなで子どもを見守り育むまちに

地域と学校が一体となって、たくさんの大人とふれあう機会を与えることは、子どもたちが学校の授業だけでは得られない「生きる力」を身に付けていくことにつながります。市は、これからも地域全体で子どもを見守り、育てていくことのできるまちを目指していきます。